

基礎ゼミの私的試行 ～方法か知識か～

経済学部：田中求之

■現状

- ・経済学部の基礎ゼミは、2004年度から始まった（2003年度のカリキュラム改定で導入）
- ・少人数教育や導入教育の充実をめざして、2年生前期の必修科目として、従来の外書購読を廃して実施されるようになった（2年後期には現在も外書購読がある）
- ・1つのゼミあたり12名程度の定員（最大15名まで）。担当教員数にあわせて調整される。学生は1年生後期の登録期間に、配布されたシラバスを読んで第5希望までをWebで入力する。コンピューターによる抽選で受講生が決められる。
- ・経済学部の基礎ゼミにおいて、何を基礎とみなし、それをどのように教えるかについて、明確な規定や合意はない。それぞれの教員が、自分の専門分野あるいは経済学／経営学の教材（トピック）を用いながら、学習の方法なども訓練するという形で授業が行われている。
- ・田中は、現在、自分の専門分野や経営学にこだわらず、中高で学んだ（はず）の事柄の再確認を中心に、一般的な知識を補強する演習を行っている。学習の方法（調査方法、レポートやレジユメの書き方、情報技術等）の教育は一切行わないという点で、知識に特化した特異な授業となっている。

■経緯

基礎ゼミ開始当初は、情報処理関連の技術演習を中心に方法&知識のオーソドックスな演習を行っていたが、途中から知識に特化した演習に変更した。その理由や状況を、そこに至るまでの経緯を振り返る形で説明する。ゼミの具体的内容やシラバスの抜粋は資料に掲載した。

2004年度 基礎ゼミが始まる：情報技術演習

田中は情報技術演習を行うことにした。具体的には、インターネットを活用して情報を収集し、整理し、出力するための技能・技法を演習形式で教えることにした。

経済学部の情報演習室を使用して、その場でインターネットなどを使わせながら授業を行った。

このようなゼミにしたのは、基礎ゼミは「専門の授業や演習を受講するための基礎的な技能を学ぶゼミ」であって、自分の専門ゼミの予備や入門ではないと考えたからである。あくまでも一般的な基礎技法や知識を教えるのが基礎ゼミだと考えた。

中でも、検索サイトと情報サイト（ウィキペディア等）の活用法は、現在の必須のリテラシーとして基礎ゼミにふさわしいと考えた。この活用法を教える事については、現在も、必要であると考えている。

2006年度、調査&発表型に変更

情報演習室の機器更新に伴う一時的な変更の予定だった。

こちらが出した課題を調べさせることで、調査やレポートのまとめ方などの方法を学ばせると同時に、課題をとおして色々なことがらに目を向けさせることを狙った

たまたま行った世界地図演習の結果や、学生達との話の中で、知識自体が足りてないのではないかという思いを強くする。また、世界史未履修問題も発覚。また、設定した課題から広がりを持たせたり、専門へのつながりについては、学生まかせでは無理で、こちらが講義する必要を感じる

2007年度から基礎知識強化演習に方向転換

様々な分野の基礎知識を教え込むゼミとして、中学・高校の理科や社会（地理、歴史、公民）の内容を再確認しながら、身の回りの出来事に関連する事項とのつながりなども確認。

問題用紙を配っておいて、まず答えを書かせてから、解答・解説を加えていく。必要に応じて資料などを配布している。

必ずしも専門課程の学習のための基礎知識に限定せず、広く「知っておいてもいいんじゃない？」と田中が判断した内容も取り上げる。取り上げる内容については、学生達の反応や時事問題などをふまえながら、模索している段階である。

単独では一見些細な知識（情報）であっても、他とつなげることで広がりやストーリーが生まれる。なるべくそれを意識して解説を行うようにしている。ただし、なかなかうまくいかないが

- ・地球の外周はなぜ約4万キロメートルなのか？
- ・イギリスは England ではない

■批判的検討

●大学の授業ですべきことなのか？

学習や知識への意欲をかきたて、学ぶことの動機づけを行うにしても、もっと大学にふさわしい授業があるのではないか？

●専門課程の授業なのか？

一般教育科目で学ぶべき内容ではないのか？ 就職活動で4年の演習が影響を受ける現実を踏まえて、基礎ゼミ＝入門ゼミ（実質的な専門課程の演習）でよいのではないのか？

●何が基礎知識なのか？

田中の個人的な感心や好奇心によって判断された内容になっている（内容が恣意的）。大学で教えるべき基礎知識なるものの範囲を限定／確定しうるのか？

●教員の責任と負担は適切か？

自分の専門外の内容を教えることに責任を持てるのか？ また、一人の教員が担うには、その準備に負担が大きいのではないか？

●少人数教育でやるべきなのか？

講義でもよいのではないのか。少人数教育であれば、もっと学生たちに主体的に関わりを持たせる授業にするべきではないのか？